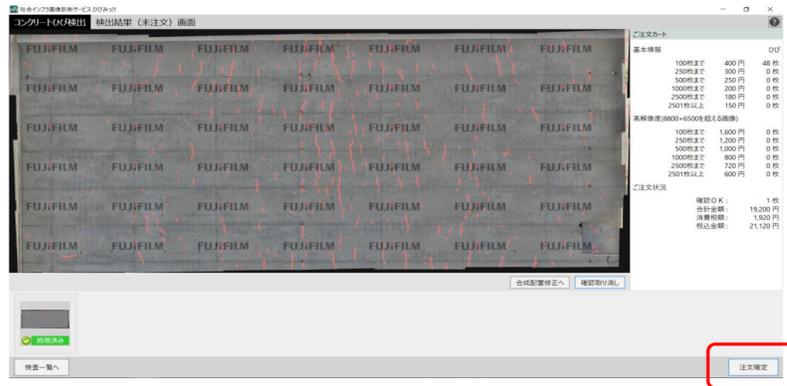
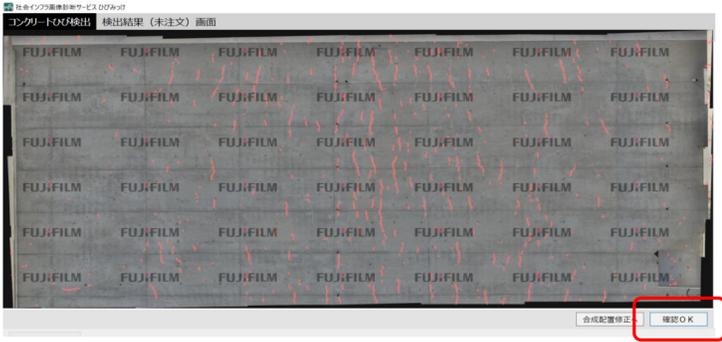


処理が完了したら、ダブルクリックして画像を開きます。

番号	名称	区分	状態	作成者	作成日時	注文確定	保存期限	抽出種別	検出条件	フォルダ数	ひび幅代表値
00013	トンネル	展開図	処理完了	U001	2021/01/25 15:50	未確定	2021/03/26 15:50	ひび	平面	1	20%
00014	床版	多項目	処理完了	U001	2021/01/25 15:49	未確定	2021/03/26 15:49	ひび/剥鉄/漏遊	平面	1	20%
00015	DEMO用	橋脚	処理完了	U001	2021/01/25 15:48	注文確定	2021/03/26 15:48	ひび/剥鉄/漏遊	平面	1	20%
00016	橋脚	0121	処理完了	U001	2021/01/21 14:45	未確定	2021/03/22 14:45	ひび/剥鉄/漏遊	平面	1	20%
00017	福岡	床版②	処理完了	U001	2021/01/20 10:38	未確定	2021/03/21 10:38	ひび	平面	1	20%

はじめにプレビュー画面が表示されるので、右下の「確認OK」ボタンを押します

枚数・金額が表示されるので、問題なければ右下の「注文確定」を押します
(このボタンを押すまでは費用は掛かりません)



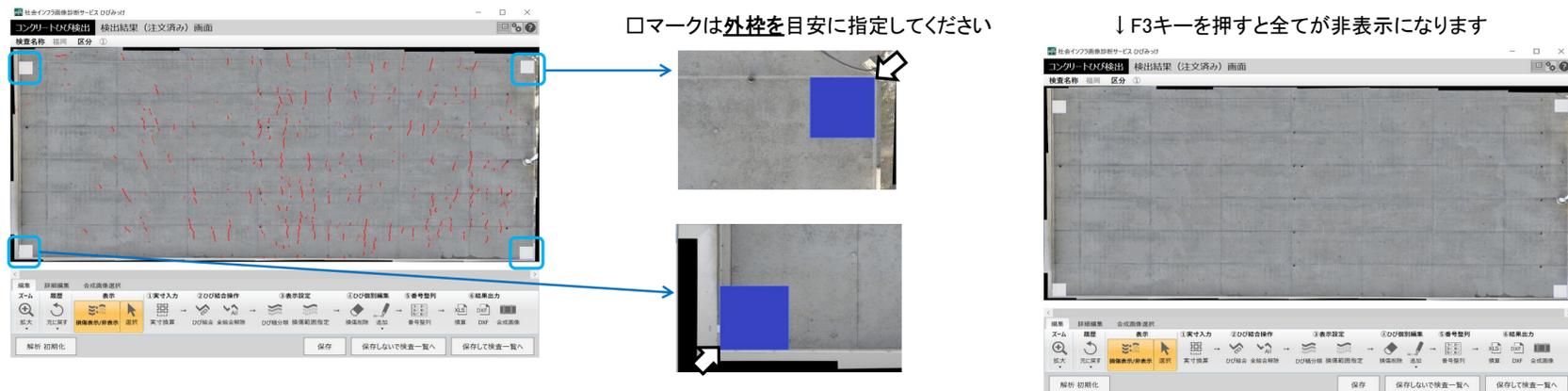
編集操作は、「検出結果(注文済み)画面」下にある編集パネルの示す手順(①~⑥)に沿って、実施します



- <編集基本操作>
- 1.実寸入力(範囲指定含む)
 - 2.ひび結合操作
 - 3.表示設定
 - 4.ひび個別編集
 - 5.番号整理

1. 実寸入力(範囲指定含む)

画面四角にある□マークを対象範囲に合わせます。この時、PCの「F3」キーを押すと全ての損傷が非表示になるので、操作がしやすくなります。

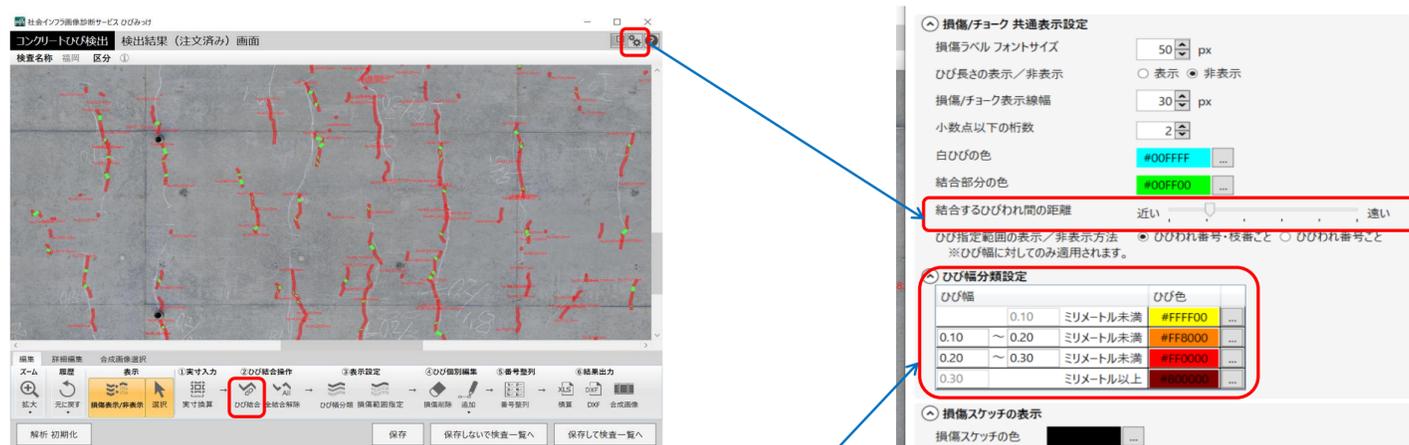


四角の範囲を指定したら、「実寸換算」ボタンを押して、現物の縦・横の長さを入力します



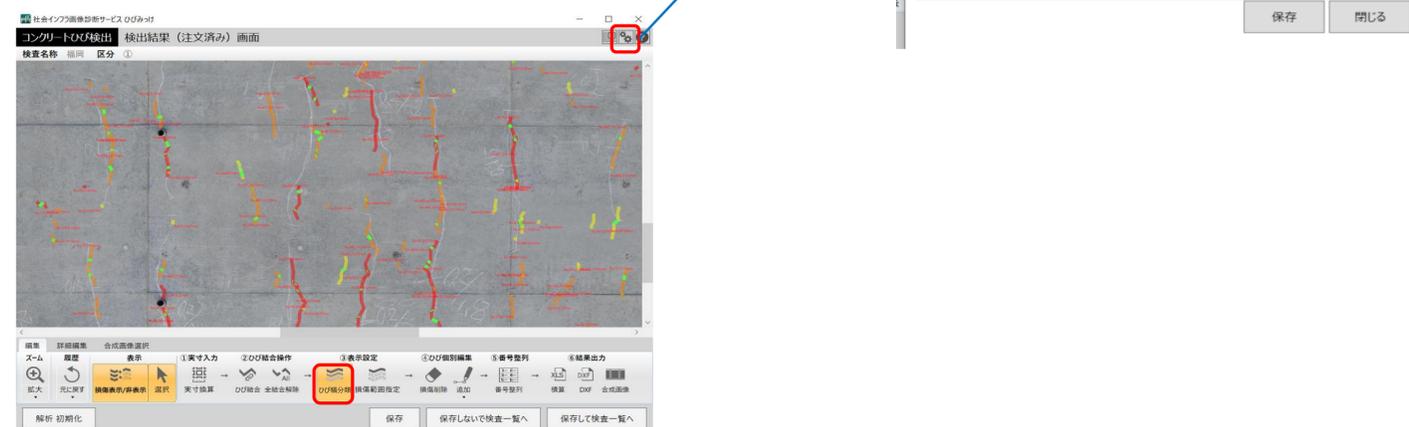
2. ひび結合操作

短いひびわれが多数(細切れ)表示される場合、近くのひびわれと強制的に結合します
画面右上の設定ボタンより、結合するひびわれ間の距離を調整できます

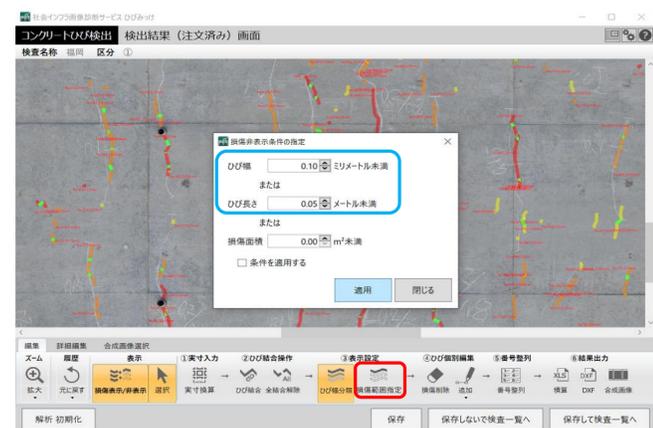


3. 表示設定

ひび幅毎にひびわれ線の色を変更します
ひび幅の閾値変更やひびわれ線の色設定は、画面右上の設定ボタンより変更できます

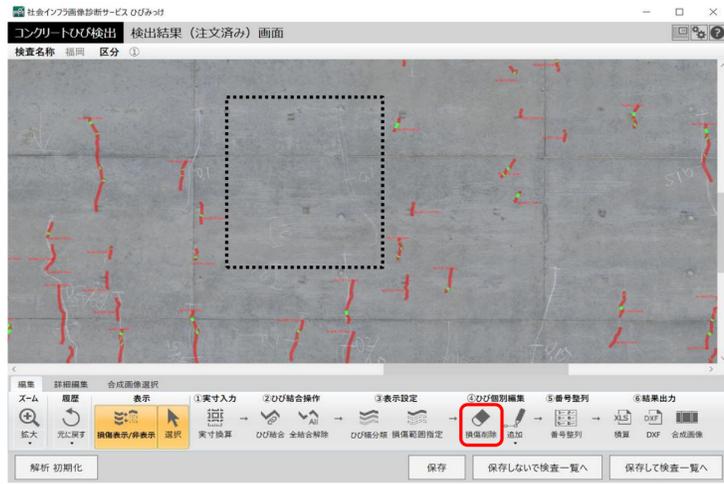
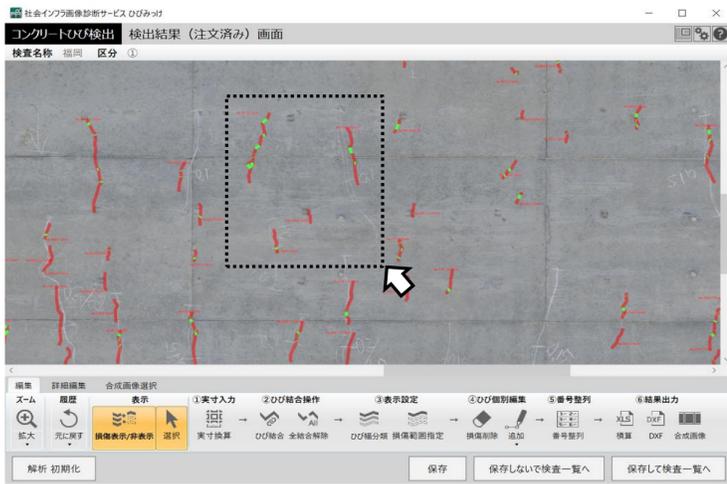


結合してもなお、短い・細いひびわれが多数表示されているので、ユーザー様の必要性(任意)に応じて表示するひびわれを指定することができます。(例: ひび幅0.1mm以下、5cm以下のひびわれを非表示にする)



4. ひび個別編集

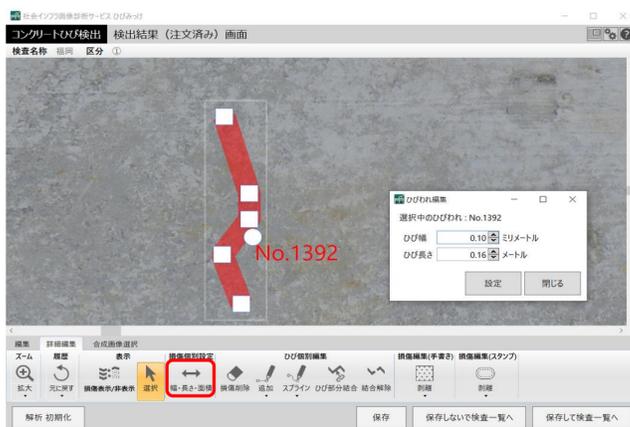
さらに不要なひびわれや誤検出したひびわれを削除することができます。
個別にひびわれを選択して「損傷削除」ボタンを押すか、PCの「DEL」キーでも可能です。
シフトボタンを押しながら範囲指定して、まとめて削除すると早くて便利です。



ひびわれを書き足す場合、一度「損傷指定範囲表示」を解除します。
「条件を適用する」のチェックボタンを外してください。



「追加」や「スプライン」ボタンで書き加えたひびわれに、「幅・長さ・面積」ボタンで情報を入力できます。(長さは自動で入力)



個別にひびわれを結合させることができます。
2つのひびわれを選択して(Ctrlボタンを押しながらひびわれを選択します)、「ひび部分結合」ボタンを押します。

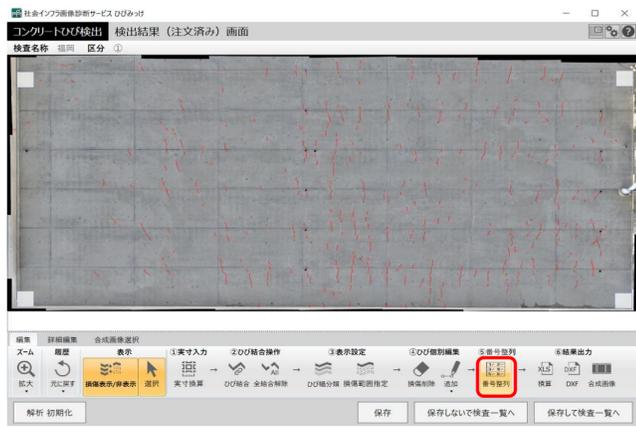


個別にひびわれの結合を解除させることができます。
解除したいひびわれを選択して、「結合解除」ボタンを押します。



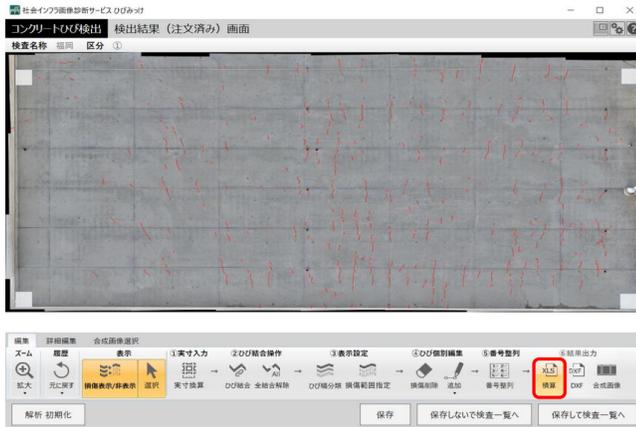
5. 番号整理

ひびわれを非表示にしたり、削除・書き足した後に、必ず「番号整理」ボタンを押してください。
編集後表示しているひび割れのみで番号を振り直します。(画面左側から順に)



6. 結果出力

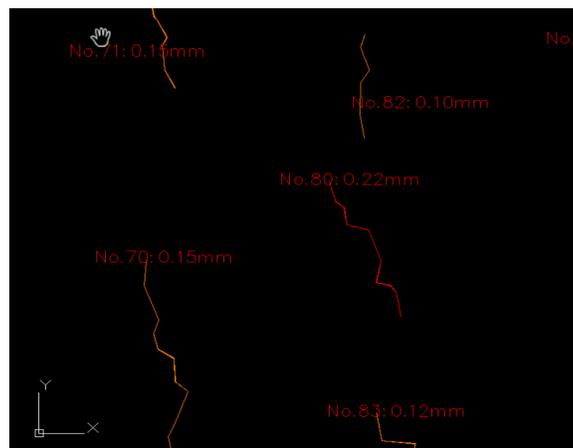
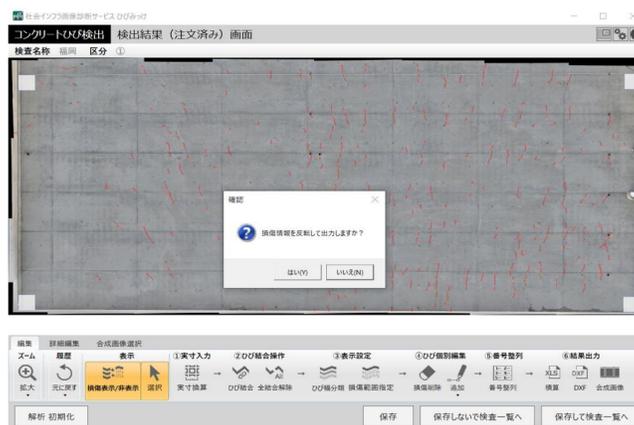
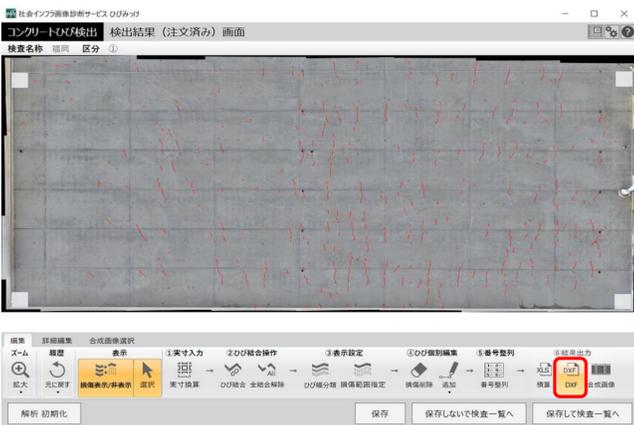
「積算」ボタンを押して損傷の積算データを出します



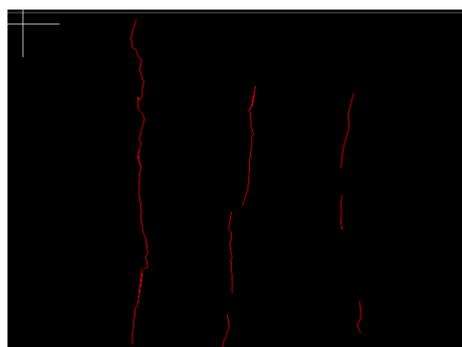
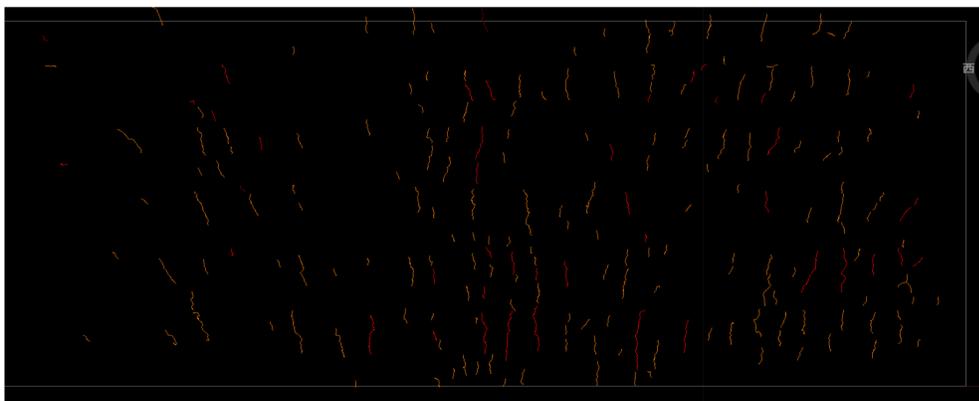
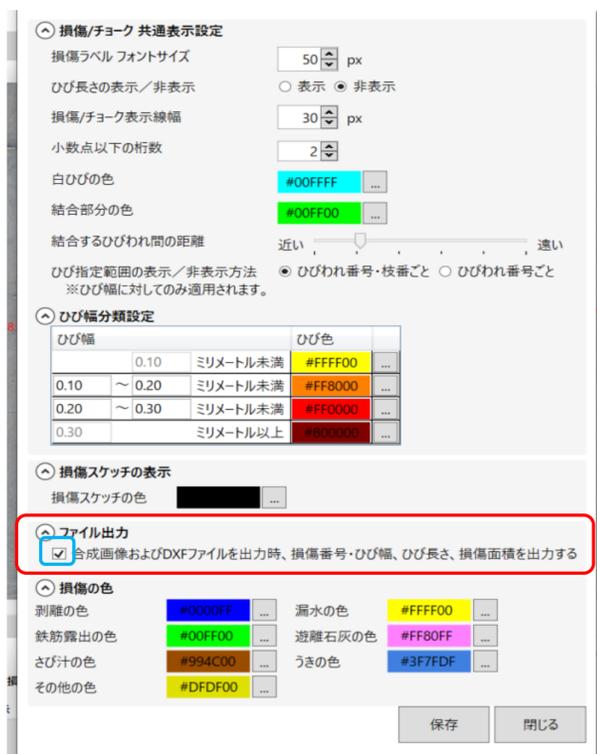
表示している範囲内のひびわれの積算を表示します
ひびわれ毎の長さ・幅情報は「Excel出力」ボタンを押して、ダウンロードされた
エクセルシートでご確認ください



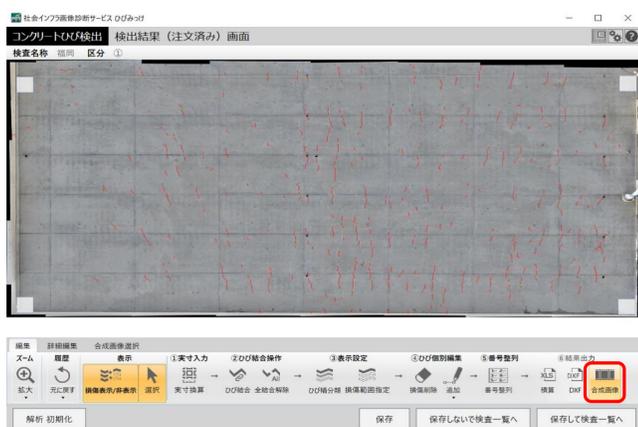
「DXF」ボタンを押してDXFデータを出します
反転させる場合は「はい」を選択してください



DXFにラベル・ひび幅を表示させたくない場合は、編集画面右上の設定にて以下のチェックボタンを外して、再度DXF出力をお願いします。

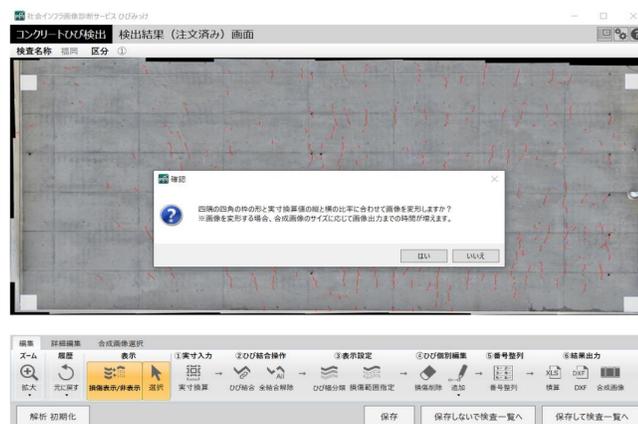


「合成画像」ボタンを押して合成画像と損傷検出合成画像を出力します



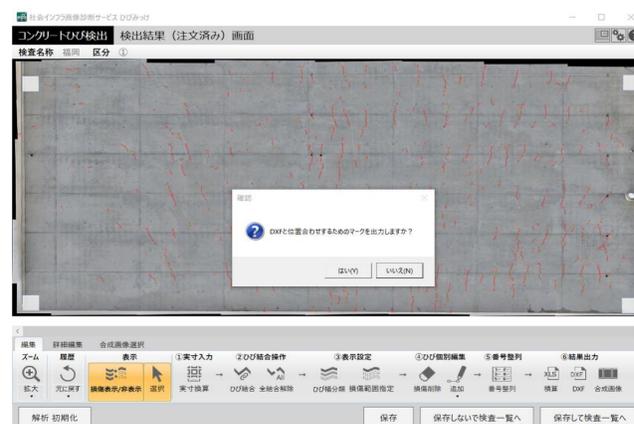
範囲指定をした領域を実寸入力した値の縦と横の比率に合わせて画像を変形させる場合は、「はい」を選択してください

合成画像が歪んでいる場合は、はいを選択することをお勧めします



CADソフトで、合成画像を読み込み、DXFファイルと合わせる場合は、「はい」を選択してください

DXFファイルと位置合わせをするための目印を合成画像に出力します



↓合成画像にDXFファイルと位置合わせをするための目印が出力されます

